

会議録要旨

(1) 会議の名称	第3回手話言語条例検討委員会
(2) 開催日時	令和2年1月11日（土曜日）午前9時～午前11時
(3) 開催場所	市民プラザたけふ 大会議室1
(4) 出席委員氏名	青井委員 森本委員 小林照子委員 鶴井委員 小林英典委員 澤崎委員 児玉委員 蓑輪委員 藤木委員 山下委員
(5) 欠席委員氏名	奥村委員
(6) 出席所管課職員職氏名	市民福祉部 川崎部長 社会福祉課 笹田課長、神門副課長、山森主事、城戸(嘱託)
(7) 会議議題	①手話言語条例について ②今後のスケジュールについて
(8) 傍聴者の数	8人
(9) 会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 パブリックコメント（以下、パブコメと略す）の概要及び今後のスケジュール ・資料2 越前市手話言語条例素案 ・資料3 条例と基本推進方針と施策の関係性 ・資料4 具体的施策を提言する懇話会（仮称）委員案 ・資料5 他市の具体的施策
(10) 会議の内容の要旨	<p>①事務局より手話言語条例素案について、前回の委員会から修正した箇所を中心に説明した。また、条例と基本推進方針と施策の関係性について説明した。</p> <p>②事務局よりパブコメの概要について報告し、特に施策に関する意見が多く、これらの意見は来年度開催予定の「具体的施策を提言する懇話会（仮称）」で反映していく予定と説明した。また、ろう者やろう者団体への支援等については条例に盛り込む方向で検討していきたいと報告した。なお、パブコメの詳細は、次回に配布することとした。</p> <p>③手話言語条例素案について協議し、主な意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が親しみやすいようにするため、条文の書き方を「ですます調」に変えてはどうか。 ・事前に意見を聴くために設置する「協議の場」という言葉を「委員会」や「機関」にしてはどうか。また、施策を見直す期間を明確にしてほしい。 ・基本方針推進と具体的施策の骨子案をある程度提示してもらえると、条例のイメージが膨らむのではないか。 ・前文にある「差別」「社会的地位の向上」の言葉が気になるが、実際にあった出来事である。その背景を市民が知ることによって「ろう者」と「手話」への理解につながると思う。 ・条例の名称について、ろう者の気持ちを入れた名称に変えてほしい。次回までに名称案を考えて検討し、決めてはどうか。
(11) その他	—